

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード	820300	TEL	2923-2396		
事業コード	820303	幼児の健やか発達支援事業	担当部課	教育センター			
開始年度	平成14	年度	→	終了年度	平成 年度		
②事業の概要		事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加		根拠法令		
		分野別計画・指針			幼稚園教育要領 保育所保育指針		
		関連・類似事業					
		総合計画の体系	章 教育・文化・スポーツ	節 学校教育	基本方針 確かな学力と自立する力の育成		
		事業開始の背景	急激な社会の変化の中で、子育て不安を感じている保護者が増加している。また、教育現場において幼児期の生活がその後の学校生活に様々な課題をもたらしているとともに、幼稚園・保育園などでも幼児の対応が課題となってきたため、保護者や幼稚園・保育園指導者に支援が必要である。				
③事業の内容							
目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
保護者との電話相談、面談相談により幼児のより良い発達を促す。また、研修会を開催し、幼児教育に携わる指導者の資質向上を図る。							
対象(誰を、何を対象としているのか)							
幼児の保護者と幼稚園教諭、保育士		対象数	単位	平成 26 年度	2,100 人		
				平成 27 年度	2,100 人		
事業の具体的な内容及び実施方法							
1 電話による相談や、面接相談、園巡回教育相談 2 幼児教育研修会①5/18(水)大学教授による講義 ②10/7(金)授業公開・講義 ③1/24(火)大学教授による講義 3 ことば・聞こえの相談 幼児を対象とした、吃音や構音障害の改善のための支援を行う。 4 幼児の相談室「すまいる」保護者の抱える幼児の課題について、相談活動を行ったり、集団に適應するためにグループでの活動を行ったりして課題の解決を目指す。							
④経費							
＜会計種別＞		一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
予算現額			300	250	200		
決算(見込み含む)			170	170			
(非常勤特別職員) (臨時任用職員)		(人)	(人)	(人)	(人)		
正規職員人件費		0.25 人	2,180	0.25 人	2,165		
事業費合計			2,350	2,335			
財源内訳		一般財源	2,350	2,335	200		
		国・県支出金					
		その他()					
⑤実績							
項目名		項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
活動実績	面接相談	面接相談回数	回	1,070	1,067	1,000	90
	園巡回教育相談	園巡回教育相談回数	回	289	365	300	/
	幼児教育研修会	研修参加者数	人	122	121	120	150
⑥成果							
項目名		項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
成果指標	相談可能数に対するの対応件数	相談対応件数	目標値	1,070	1,000	1,100	90
			実績	1,070	1,067	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る	
目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率	100	107	↑どちらかをチェックしてください
⑦改善点							
(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
面接相談では、子どもの行動観察、遊戯療法、諸検査等を行い、保護者により良い関わり方を伝えている。複雑なケースは、子ども相談センター等の外部機関と連携をとりながら支援を行った。保護者にもペアレントトレーニングを行うなどして、不安解消につなげることができた。			-				
⑧評価							
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	平成29年1年の「所沢市子ども福祉の未来館」設置を見据え、業務の精選を図っていく。		
	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了	次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	平成29年1月開設予定の「所沢市子ども福祉の未来館」は、幼児の相談すべてを引き継がず、教育相談室が一部の主訴ケースを担当するため。幼児相談員は、学齢児の相談も数多く担当しているため。教育相談室が幼児教育研修会を引き続き所管するが、幼児相談員が担当するため。幼児相談員が小学校就学に係る相談を担当するため。		
(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
幼児の発達に関する相談・支援と未就学児の療育については、平成29年1月に設置される「所沢市子ども福祉の未来館」に移管するが、教育センター相談室との関係について調整を図っている。			平成29年9月以降、「教育センター教育相談室」、「子ども福祉の未来館」、「子ども相談センター」の業務を調整する。平成26・27年度の調整会議で決まった内容の確認と細部にわたる検討を行う。				
評価日	H28.8.15	評価者職氏名	所長 米澤 三八子				
⑨環境影響							
有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	資料の作成	規制を受ける環境法令等	無	
					緊急事態	無	